

事業の概要

1 常設展示

常設展示を構成する資料

(昭和60年度中展示延点数)

区 分	実物資料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カラー透視 写真及び写真	図 板	計
地 学	423	18	13	27	481
生 物	898	79	20	19	1,016
歴 史 ・ 民 俗	687	32	64	65	848
美 術	384			5	389
合 計	2,392	129	97	116	2,734

(1) 地学展示室 (258㎡)

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 県内の地質時代の出来事を岩石の分類と偏光投影観察装置を使用し解説。
- 鳥取県とその周辺産出化石並びに各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか）。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- 鉱物の特性を結晶系と化学組成分類にて解説、また県内外の有用鉱物を鉱床と関連づけて展示。
- 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達を解説展示。

(2) 生物展示室 (257㎡)

- 大山と砂丘の生物の垂直および水平分布とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物の生態と分布（ジオラマ）を解説展示。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分布解説と分類展示。
- オオサンショウウオの卵から成体までの発育過程と飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 県内産のけものをはじめ外国産の鳥獣の展示。
- 貝類の生息環境による分類。とくに、海産は南方、北方などの海域別に展示、ほかに陸産、淡水産の展示。
- 昆虫の分類展示（チョウ、ガ、甲虫、セミ、トンボ、ハチ、バッタ類など。）
- 植物の分類展示（樹幹、およびキノコ）。郷土の植物を解説展示。

(3) 歴史民俗展示室 (515㎡)

県史にかかる主要な事項や民俗の世界を系統的に取り上げ、次のようにより分かり易いよう展示改善を行った。

<狩猟から農耕へ>

- 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物（青銅器、土器、石器）及び文化交流などの解説展示。

<古墳とその時代>

- 古郡家一号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 古墳時代の生活用具の復元展示（かまど三点セットなど）。
- 県内出土の須恵器の分類展示。
- 県内出土の代表的なはにわ（鹿、家、水鳥など）の展示。
- 銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

<奈良・平安の因伯>

- 古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、瓦経などの展示。
- 伯・国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）
- 因幡国庁出土の墨書土器緑釉陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡レプリカの展示。
- 伊福部徳足比売骨蔵器（レプリカ）の展示。
- 時範記（複製）等の展示。

<戦乱の時代>

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図（模写）の展示。
- 中世遺跡出土、鰐口、青磁小壺、白磁五輪花皿、青磁香炉、青磁盤の展示。
- 新興寺文書及び伝名和長年像の展示。
- 二上城及び布施天神山城出土の陶磁器片の展示。
- 梵鍾二口（廃阿代寺、国英神社）の展示。

<土農工商の社会>

- 鳥取城模型・鳥取城下図（模写）・鳥取城瓦など、鳥取城関係の展示。
- 池田光仲肖像・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 鳥取を代表する歌人香川景樹の肖像・短冊の展示。
- 検地帳や宗門改帳、町奉行日記や町年寄日記など江戸時代の農村と都市についての展示。

<因州藩から鳥取県へ>

- 最後の藩主池田慶徳・初代県令河田景与の肖像写真パネル。
- 藩から県に移行する時期の行政の日誌の変化を展示。

<生活の中の道具>

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- 稲作農具を稲作作業の進行にしたがって展示。
- 伯州綿から浜がすり製品まで、生産工程順にかすり織り用具を展示。
- 日用品、交易、化粧、食器その他の日用品の分類展示。
- 行器（ほかい）、婚礼に使用された各種のつものたるなどの展示。

<伝え継ぐ心>

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- 芸能娯楽用具として、人形芝居、きりん獅子、郷土玩具などを解説展示。
- とんどう、双盤念仏、綱引き、亥の子などの民俗行事をVTRによって動態的に展示。

<歴史の窓>

- 十代藩主池田慶行の書画 60年4月9日～60年5月14日
- ひるり蓑 60年5月14日～60年10月8日
- 徳川斉昭の手紙 60年10月8日～60年12月25日
- 注連飾り 60年12月25日～61年2月15日
- 縄文土器とその時代 61年2月15日～61年5月15日

(4) 美術展示室 (260㎡)

- 平安時代から室町時代の国、県指定の仏像、仏画を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛幅、屏風並びに本県出身作家の作品を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビー等に展示。

主な展示資料 ◎重要文化財 △重要美術品 ○保護文化財

<仏像・仏画等>

○大日如来坐像（木造）	若桜町永福寺蔵	釈迦十羅刹女図（絹本）	智頭町豊乗寺蔵
○稲荷像（木造）	倉吉市円谷地区蔵	五大明王図（絹本）	用瀬町大安興寺蔵
蔵王権現立像（木造）	岩美町観照院蔵	○釈迦十六善神図（絹本）	用瀬町大安興寺蔵
◎薬師三尊像（木造）	国府町学行院蔵	不動明王図（絹本）	当館蔵
◎吉祥天立像（木造）	国府町学行院蔵	不動明王図（絹本）	個人蔵
◎十一面観音立像（木造）	大栄町観音寺蔵	涅槃図（絹本）	鳥取市興禅寺蔵
◎不動明王立像（木造）	大栄町観音寺蔵	涅槃図（絹本）	西伯町宝禅寺蔵
両界曼荼羅図（絹本）	智頭町豊乗寺蔵	毘沙門天立像（木造）	個人蔵

<工芸>

○梵鐘	岩美町網代地区蔵	○擬宝珠（二口）	関金町地藏院蔵
密教法具	当館蔵	○飾太刀	鳥取市楞谿神社蔵
備前焼壺	個人蔵	懸仏	個人蔵
○染織布	鹿野町譲伝寺蔵	染の型紙	個人蔵

<近世絵画>

山水花鳥図屏風	土方稻嶺	当館蔵	旭日老松遊鶴図	根本幽峨	個人蔵
牡丹小禽双鳩図	土方稻嶺	個人蔵	琴棋書画之図	根本幽峨	個人蔵
山水画賛	土方撲斎	個人蔵	楼閣山水図	根本幽峨	個人蔵
千匹鯉図	黒田稲臯	当館蔵	○猛虎図	片山楊谷	個人蔵
○群鯉図	黒田稲臯	個人蔵	雪山山水図	島田元旦	個人蔵
○群鯉遊泳図	黒田稲臯	当館蔵	鯉魚之図	小畑稻升	当館蔵
春野草花図	沖九臯	個人蔵	群鯉図	小畑稻升	個人蔵
瀑布図	根本幽峨	当館蔵	東方朔図	片山楊谷	個人蔵
遊鶴図屏風	土方稻嶺	個人蔵	東海道道中図	島田元旦	個人蔵
猿鹿図屏風	土方稻嶺	個人蔵	花鳥図	島田元旦	個人蔵

雪中梅華図	土方稲嶺	個	人	蔵	秋景山水図	鳥田元旦	当	館	蔵
花鳥図屏風	黒田稲臯	個	人	蔵	四季花鳥図	小畑稲升	個	人	蔵
芳野山春景図	沖 探谷	個	人	蔵					
果物草花図	牧野芝石	個	人	蔵					
<近代彫刻>									
つどい	長谷川塊記	当	館	蔵	非化Q	辻 晉堂	個	人	蔵
裸	早川巍一郎	当	館	蔵	寒 山	辻 晉堂	個	人	蔵
寒 拾	辻 晉堂	個	人	蔵	婦人像	辻 晉堂	個	人	蔵
鶏と女	辻 晉堂	個	人	蔵					



常設展示室を御視察中の皇太子殿下・同妃殿下

(5) 近代美術展示室

新たに近代美術展示室を開設し、本年度は次のようなテーマ展示を行った。

ア 前田寛治と福本和夫展

会 期 昭和60年 6 月11日(火)～ 6 月30日(日)

洋画家前田寛治（1896－1930）と社会思想家福本和夫（1894－1983）は、倉吉中学校の同級であるが、大正12、13年留学先のパリで親交を深める。帰国後、前田寛治は佐伯祐三らと1930年協会を創設、独自の写実理論による作品を発表し、画壇に新しい動向を示す。福本和夫は、新しい社会主義理論を次々と発表し、その理論的指導者となる。ふたりは、社会的に不安定な昭和初期に彗星のように現われるがその輝きは東の間であった。今回は、前田寛治のパリ留学時代の作品と福本和夫の著書等を展示し、ふたりの業績と昭和初期の思潮を考えようとして企画した。

出 品 目 録

前田 寛治作品

No	作 品 名	大きさ (cm)	制 作 年	所 蔵
1	工 場 風 景	52.5× 80.5	滞 欧 時 代	鳥 取 県 立 博 物 館
2	メ ー デ ー	72.7× 91.0	(大 正 1 3 年)	
3	あ る 彫 刻 家 の 肖 像	117.0× 80.0	(大 正 1 2 年)	
4	繻 帯 を し た 男	72.8× 50.0	滞 欧 時 代	
5	プ ル タ ー ニ ュ の 女	166.0×101.0	(大 正 1 4 年)	
6	立 て る 男 (労 働 者)	162.0× 93.0	滞 欧 時 代	
7	物 を 喰 う 男	116.7× 91.0	〃	
8	労 働 者	117.0× 91.0	〃	
9	パ リ 風 景	50.0× 61.0	(大 正 1 4 年)	
10	工 場 内 部	72.7× 60.5	(大 正 1 3 年)	
11	静 物	40.0× 60.6	滞 欧 時 代	鳥 取 県 立 博 物 館
12	肘 を つ く 横 臥 裸 婦	46.0× 61.0	〃	
13	少 女	45.5× 33.0	〃	
14	労 働 者	60.5× 50.0	〃	
15	西 洋 婦 人 像	90.5× 73.0	〃	
16	自 画 像	45.5× 33.3	(大正14～15年)	
17	福 本 和 夫 像	51.0× 37.5	(昭 和 2 年)	
18	福 本 和 夫 像	91.0× 72.5	〃	
19	白 い 服 の 少 女	73.0× 60.5	(昭 和 3 年)	
20	海	16.0× 23.0	(昭和4～5年)	倉 吉 博 物 館
21	海	18.0× 25.0	〃	
22	海	24.0× 33.0	〃	
23	海 (画 稿)		(昭 和 4 年)	
24	風 景 (絶 筆)	38.0× 45.5	(昭 和 5 年)	
25	アインシュタイン像 (素 描)		(大 正 1 1 年)	鳥 取 県 立 博 物 館

No	作 品 名	大きさ (cm)	制 作 年	所 蔵
26	アインシュタイン像 (素 描)		(大正11年)	鳥 取 県 立 博 物 館

福本 和夫作品

(図 書)

東 洋 古 兵 法 の 精 神 (昭和18年)
 抜 け 参 り の 研 究 (昭和18年)
 獄 中 1 4 年 (昭和21年)
 革 命 は 楽 し か ら ず や (昭和27年)
 人 間 毛 沢 東 (昭和28年)
 農 民 懇 話 会 6 卷 (昭和32年～)
 戦 後 日 本 の 農 林 業 問 題 (昭和34年)
 革 命 運 動 裸 像 (昭和37年)
 北 斎 と 近 代 絵 画 (昭和43年)
 梟 と 人 生 (昭和44年)
 私 の 辞 書 論 (昭和52年)

晩 年 の 新 井 白 石 (昭和18年)
 漂 流 船 物 語 の 研 究 (昭和19年)
 北 斎 と 印 象 派 の 人 々 (昭和22年)
 唯 物 論 者 の 見 た 梟 (昭和27年)
 日 本 の 山 林 大 地 主 (昭和29年)
 マルクス主義公論 27卷 (昭和33年～)
 日 本 捕 鯨 史 話 (昭和35年)
 日 本 ル ネ ッ サ ンス 史 論 (昭和42年)
 書 味 真 髓 (昭和43年)
 福本和夫初期著作集 4 卷 (昭和46年)
 フ ク ロ ウ (昭和57年)

など

(原 稿)

「獄中記」 「日本ルネッサンス史論」 「古河市兵衛」 「万世橋留置場の雑泳」
 「前田寛治の人と芸術」 「前田寛治とクールベ」

など

○ドイツ留学中に買い求めた研究書目録

(前田寛治が口絵2図を描く)

○獄中日記

(書)

「心」「流雲」「緑風」「窮通」
 「草書福の字」「龍」「飛龍」「竹」
 「東大寺古瓦の硯」「南原氏歌集形相」より
 「身辺雑記」「臘梅」
 「ふくろう図」「山水画」

○ふくろうのコレクション 31点

○愛用の筆、硯、印章や手紙など



前田寛治と福本和夫展

イ 前田寛治展

会 期 昭和60年7月18日(木)～8月25日(日)

鳥取県が生んだ代表的洋画家前田寛治の作品を館蔵資料を中心に展示した。

出 品 目 録

油 彩

No	作 品 名	大きさ (cm)	制 作 年	所 蔵
1	子 供	33.0× 23.6	1 9 2 0 年 頃	

No	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵
2	男 の 横 顔	33.0× 23.9	1 9 2 0 年頃	鳥 取 県 立 博 物 館
3	少 女	65.5× 46.0	1 9 2 2 年頃	
4	バ ラ	33.0× 23.8	1 9 2 1 年頃	
5	畑	33.0× 23.3	〃	
6	ダ リ ヤ	60.8× 50.2	1 9 2 2 年頃	
7	子 供	33.5× 46.0	1 9 2 1 年	
8	花 と 子 供 等	80.5×117.0	〃	
9	立 て る 子 供	117.0× 80.5	1 9 2 2 年	
10	静 物	53.0× 64.0	1 9 2 3 年頃	
11	裸 婦	100.5× 72.7	1 9 2 5 年	
12	労 働 者	53.0× 45.5	1 9 2 4 年頃	鳥 取 県 立 博 物 館
13	工 場 風 景	52.5× 80.5	〃	
14	工 場 内 部	72.7× 60.5	1 9 2 4 年	
15	静 物	40.0× 60.0	1 9 2 3 年	
16	静 物	72.5×100.0	1 9 2 6 年	
17	労 働 者	61.5× 50.5	1 9 2 4 年頃	
18	西 洋 婦 人 像	61.5× 47.0	1 9 2 5 年頃	
19	労 働 者	117.0× 91.0	1 9 2 4 年頃	
20	あ る 彫 刻 家 の 肖 像	117.0× 80.5	1 9 2 3 年	
21	繻 帯 を し た 男	73.0× 50.0	1 9 2 4 年頃	鳥 取 県 立 博 物 館
22	少 女	46.0× 33.5	1 9 2 5 年頃	鳥 取 県 立 博 物 館
23	物 を 喰 う 男	117.0× 91.0	1 9 2 4 年頃	鳥 取 県 立 博 物 館
24	立 て る 労 働 者	162.0× 93.0	〃	鳥 取 県 立 博 物 館
25	ブ ル タ ー ニ ュ の 女	166.0×101.0	1 9 2 5 年	
26	少 女 と 子 供	145.5×112.0	1 9 2 7 年	
27	少 女 座 像 (赤 衣)	117.0× 91.0	〃	
28	伏 臥 裸 婦	113.0×146.0	1 9 2 8 年	
29	横 臥 裸 婦	97.0×162.0	〃	
30	裸 婦	73.0×100.0	1 9 2 8 年頃	
31	仰 臥 裸 婦	112.0×145.0	1 9 2 6 年	
32	裸 婦 習 作	51.0× 73.5	1 9 2 7 年頃	
33	西 洋 婦 人 像	91.5× 73.0	1 9 2 5 年頃	鳥 取 県 立 博 物 館
34	福 本 和 夫 像	91.0× 72.5	1 9 2 7 年	鳥 取 県 立 博 物 館
35	白 い 服 の 少 女	73.0× 60.5	1 9 2 8 年	鳥 取 県 立 博 物 館
36	花	45.5× 38.0	1 9 2 9 年	鳥 取 県 立 博 物 館
37	赤 い 帽 子 の 少 女	53.5× 46.0	1 9 2 5 年	
38	子 供 の 顔	23.0× 16.0	1 9 2 9 年	
39	海	18.0× 25.5	〃	

No	作 品 名	大きさ (cm)	制 作 年	所 蔵
40	海	16.5× 23.5	1 9 2 9 年	鳥 取 県 立 博 物 館
41	自 画 像	45.5× 33.3	1 9 2 5 年頃	

(素 描) 24点

- ・アインシュタイン像
- ・裸 婦 10点
- ・婦 人 像 2 点
- ・少 年 像
- ・海 (クレパス)
- ・「走馬燈」挿図 9 点



ウ．鳥取県の近代洋画展

前田 寛治展

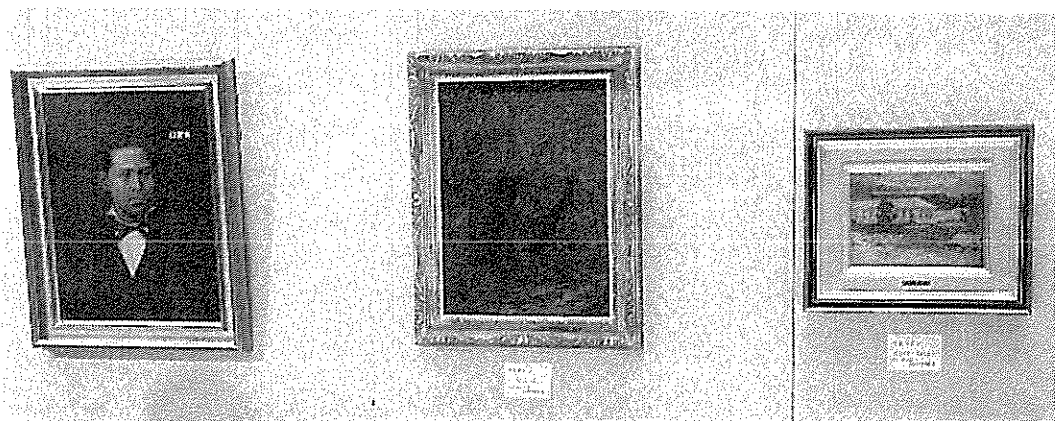
会 期 昭和60年11月23日(土)～12月22日(日)

鳥取県ゆかりの洋画家 (前田寛治、遠藤 董、香田勝太、安岡信義、伊谷賢蔵、笹鹿 彪等) の作品40点を展示した。

出 品 目 録

No	作 家	作 品 名	大きさ (cm)	制 作 年	所 蔵
1	遠藤 董	こ と も し	16.1× 25.8	明 治 8 年	鳥取県立博物館
2	〃	鳥 取 城	26.5× 33.0	明 治 1 2 年	鳥取県立図書館
3	〃	清 水 彦 五 郎 像	65.2× 50.3	明 治 1 3 年	鳥取県立博物館
4	恩田 節園	加 茂 の 森	63.0× 47.0	明 治 4 1 年	鳥取県立図書館
5	安岡 信義	校 舎 雪 景 (鳥 取 高 女)	24.0× 33.0	明 治 4 4 年	鳥 取 西 高
6	〃	夏 の 河 岸	45.5× 61.0	明 治 4 4 年	鳥取県立博物館
7	村尾 平吉	美 術 学 校 課 題 作 品	18点	明治25～27年	
8	安岡 信義	杖 を 持 つ 男	60.8× 45.5	大 正 2 年	鳥取県立博物館
9	〃	お 濠	65.0× 91.0	大 正 4 年	鳥取県立図書館
10	〃	八 坂 山 秋 色	59.5× 79.5		湖 南 小 学 校
11	久米 福衛	冬 の 山	45.0× 33.0	大 正 5 年	鳥 取 西 高
12	〃	風 景	37.7× 33.2		
13	〃	少 年 (浜 田 少 年 の 像)	80.5× 61.0	大 正 4 年	鳥取県立博物館
14	中井 金三	大 山 滝 雪 景	60.5× 80.5	大 正 5 年	鳥取県立博物館
15	前田 寛治	花 と 子 供 等	80.5× 117.0	大 正 1 0 年	鳥取県立博物館
16	〃	立 て る 子 供	117.0× 80.5	大 正 1 1 年	鳥取県立博物館

No	作 家	作 品 名	大きさ (cm)	制 作 年	所 蔵
17	前田 寛治	赤 い 帽 子 の 少 女	52.0× 43.0	大正13～14年	鳥取県立博物館
18	〃	西 洋 婦 人 像	92.0× 73.0	大正13～14年	
19	〃	ブ ル タ ー ニ ュ の 女	162.0×101.0	大正13～14年	
20	〃	少 女 と 子 供	145.0×112.0	昭 和 2 年	
21	〃	少 女 座 像	117.0× 91.0	昭 和 2 年	鳥取県立博物館
22	〃	白 い 服 の 少 女	73.0× 60.5	昭 和 3 年	鳥取県立博物館
23	〃	棟 梁 の 家 族	131.0×162.5	昭 和 3 年	鳥取県立博物館
24	中井 金三	校 庭 の 桜	40.0× 51.5	昭 和 6 年	鳥取県立博物館
25	〃	バ ラ	52.5× 45.5		鳥取県立博物館
26	香田 勝太	小 庭	23.1× 32.0		鳥取県立博物館
27	〃	紅 葉 の 大 山	50.0× 73.0		鳥取県立博物館
28	浜田 重雄	青 年 像	90.9× 72.7	昭 和 4 年	鳥取県立博物館
29	川上 貞夫	大 砲	97.0×130.0	昭 和 6 年	鳥取県立博物館
30	伊谷 賢蔵	室 内 裸 婦	193.9×130.3	昭 和 2 4 年	鳥取県立博物館
31	〃	ク ス コ の 朝 市	130.3× 91.0	昭 和 4 3 年	鳥取県立博物館
32	〃	万 年 山 早 春	145.5×112.1	昭 和 4 3 年	鳥取県立博物館
33	国頭繁次郎	石 の 顔	70.5× 63.0	昭 和 3 7 年	鳥取県立博物館
34	〃	石 の 馬	113.0×162.0	昭 和 3 9 年	鳥取県立博物館
35	笹鹿 彪	プ ロ メ テ	145.5×112.1	昭 和 3 6 年	鳥取県立博物館
36	〃	風車にいどむ(ドン・キホーテ)	145.5×112.1	昭 和 3 7 年	鳥取県立博物館
37	〃	お っ ペ シ	162.2×130.3	昭 和 4 1 年	鳥取県立博物館
38	松田 晃八	山 王 の 森	97.0×146.0	昭 和 33年頃	鳥取県立博物館
39	〃	青 い 岩	80.3×116.7	昭 和 39年頃	鳥取県立博物館
40	〃	砂 丘	80.3×130.3		



鳥取県の近代洋画展

エ 鳥取県の近代洋画展 (特別陳列 伊谷賢蔵)

会 期 昭和61年1月5日(日)～2月11日(火)

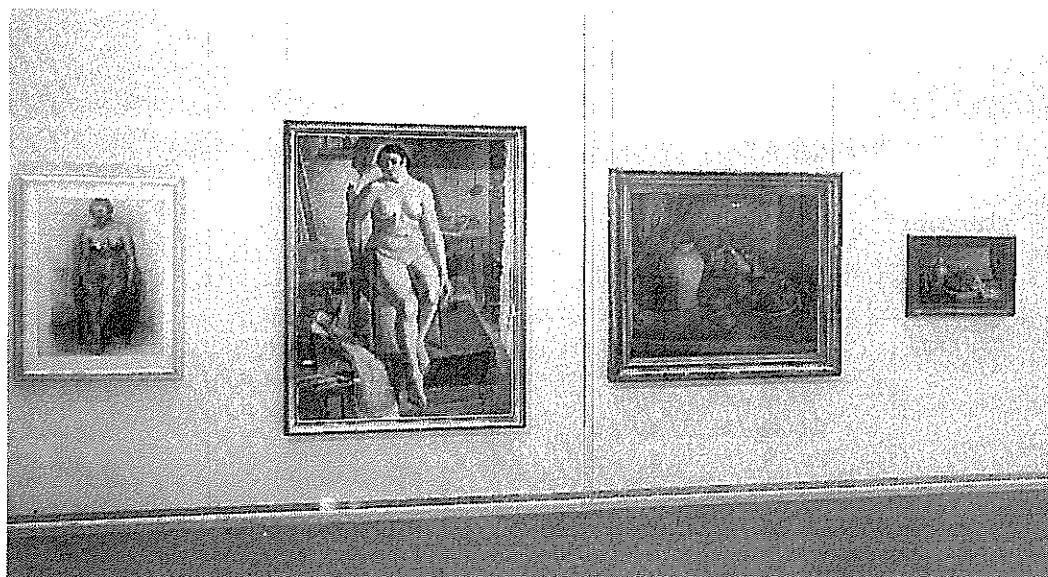
伊谷 賢蔵 (1902～1970) 鳥取市川端に生まれる。京都工芸高等学校を卒業後は二科会に出品を続け、戦後は行動美術協会の創立に参加し、その中心メンバーとして活躍する。温かみ溢れ

る画面と晩年の個性的な赤い色調は特徴ある作風となっている。この企画は、館蔵品を柱に、鳥取市周辺にある作品で構成した。

出品目録

No	作 品 名	大きさ (cm)	制 作 年	所 蔵
1	裸 婦	116.5× 90.5	1 9 2 7 年頃	遷 喬 小 学 校
2	静 物	72.5× 91.0	1 9 2 8 年	
3	静 物	27.2× 45.3	1 9 2 8 年	
4	少 女 の 像	40.8× 27.0	1 9 2 9 年	
5	父 上 の 肖 像	45.3× 38.5	1 9 3 0 年	
6	画 室 に て	61.0× 45.6	1 9 3 0 年頃	
7	冬 の 入 江	37.7× 45.6	1 9 3 2 年	
8	大 羽 尾 夕 風	60.0× 72.5	1 9 3 5 年 (1950、51年加筆)	
9	細 野 新 雪	37.7× 45.3	1 9 4 3 年	
10	子 供 の 顔 (美 佐 子)	35.3× 27.0	1 9 4 3 年	
11	鳥 取 風 景	33.4× 53.0	1 9 4 9 年	鳥 取 県 立 博 物 館
12	漁 村 遠 望	41.0× 48.2	1 9 5 2 年	
13	室 内 裸 婦	193.9×130.3	1 9 4 9 年	
14	立 石 山 早 春	130.3× 89.4	1 9 5 5 年	
15	卓 上 静 物	33.0× 23.5	1 9 5 4 ~ 5 5 年	
16	梅	54.0× 41.5	1 9 5 6 年	
17	燈 下	116.5× 91.2	1 9 5 6 年	
18	柿	20.6× 41.0	1 9 5 5 年	
19	榮 螺 と 柿	23.8× 64.4	1 9 5 7 年	
20	日 向 の 国 油 津	38.0× 45.0	1 9 5 9 年	
21	裸 婦	45.5× 33.5	1 9 6 0 年	鳥 取 大 学
22	ト レ ド の 橋	44.8× 52.0	1 9 6 2 年	
23	ト レ ド 大 観	60.5× 72.5	1 9 6 4 年	
24	コ ロ ッ セ オ 内 壁	66.0× 81.0	1 9 6 5 年	
25	桜 島	46.5× 54.0	1 9 6 1 年	
26	伯 耆 大 山 朝 や け	38.5× 45.5	1 9 6 5 ~ 6 6 年	
27	別 府 風 景	50.5× 60.6	1 9 6 0 年	
28	海 辺 の 榮 螺	38.0× 45.5	1 9 6 6 年	
29	秋 の 静 物	38.0× 45.5	1 9 6 7 年	
30	梅	116.8× 80.3	1 9 6 8 年	鳥 取 県 立 博 物 館
31	ク ス コ の 朝 市	130.3× 91.0	1 9 6 8 年	鳥 取 県 立 博 物 館
32	万 年 山 早 春	145.5×112.1	1 9 6 8 年	鳥 取 県 立 博 物 館
33	裏 大 山 晩 秋	80.4× 65.2	1 9 6 9 年	鳥 取 県 立 博 物 館
34	桜 島	45.7× 53.3	1 9 7 0 年	鳥 取 県 立 博 物 館
35	桜 島	45.5× 37.9	1 9 7 0 年	

素描（裸婦、桜島）	8 点
素描 著色（山、日向の国、スペイン）	4 点
色 紙	2 点
軸（墨書、著色）	4 点
遍路行（昭和6年4月）	2 冊



伊谷 賢蔵展

オ 鳥取県の近代洋画展（特別陳列 松田晃八）

会 期 昭和61年2月18日（火）～3月23日（日） 松田晃八（明治27年～昭和40年/1894～1965）

鳥取市行徳、聖神社宮司松田虎太の次男として生まれる。大正2～12年鳥取、大阪の小学校に勤務。大正3年、石井柏亭に水彩画を送り賞讃を得る。大正13年画家を志して上京。大正14年、二科会に「静物」が初入選、以後昭和11年まで出品。昭和4年、日本水彩画会で受賞。昭和12年「一水会」の創立に参加。

昭和19年、疎開のため帰鳥。昭和21年より、一水会会員として死去するまで出品。昭和27～37年、鳥取西高で美術を教える。この間、県展、市展の審査員。昭和41年、45年、55年遺作展開催。この企画は、館蔵品を柱に、鳥取市周辺にある作品で構成した。

出 品 目 録

No	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵
	(油 彩)			
1	自 画 像	40.5× 31.0	大正10年代	
2	静 物	51.0× 60.5	大正14年	
3	○風 景	30.5× 45.0	昭和初期	
4	○海 辺 (家)	21.5× 27.0	昭和10年代	
5	○バ ラ	37.5× 45.5	昭和7年	
6	○静 物	34.5× 37.0	昭和10年代	
7	○花 (桜)	45.0× 32.5	昭和10年代	

No	作	品	名	大きさ (cm)	制	作	年	所	蔵
8	○花	(ス イ ー ト ピ ー)		31.0× 52.0	昭	和	20年代		
9	○南		瓜	52.0× 27.0	昭	和	20年頃		
10	○ざ		く ろ	9.7× 14.8	昭	和	30年頃		
11	○赤		蕪	22.5× 34.0	昭	和	20年代		
12	き	よ	夫 人	41.0× 31.5	昭	和	20年代		
13	○湖		山 池	37.5× 45.0	昭	和	30年頃		
○印 前期展示 (3月2日まで) ●印 後期展示 (3月4日より)									
14	●ざ		く ろ	21.0× 27.0	昭	和	10年代	鳥 大 附 属 小 学 校	
15	●子		供	33.0× 24.0	昭	和	10年代		
16	●人		形	40.0× 31.5	昭	和	10年代		
17	●		梨	32.0× 40.5	昭	和	20年代		
18	●秋		の 花	44.5× 32.5	昭	和	20年代		
19	●雪	景 (丸 山 辺)		23.0× 28.0	昭	和	20年代		
20	●		蟹	21.0× 27.0	昭	和	20年代		
21	●賀		露 港	31.5× 40.5	昭	和	20年代		
22	●百		日 草	45.0× 32.5	昭	和	20年代		
23	●花	(チ ュ ー リ ッ プ)		40.5× 31.5	昭	和	30年代		
24	早 春	(吉 成 辺)		53.0× 72.0	昭	和	20年代	鳥 取 西 高 等 学 校 鳥 取 県 立 博 物 館	
25	雪 後	(お 堀)		72.0× 90.5	昭	和	28年		
26	金		華 山	112.0× 146.0	昭	和	10年代		
27	新 緑	の 土 手		91.0× 65.0	昭	和	26年		
28	夕 暮	れ の 賀 露 港		60.0× 80.5	昭	和	20年代		
29	田 園	風 景		73.0× 60.0	昭	和	20年代		
30	砂		丘	80.3× 130.3	昭	和	30年代		
31	岩	(夏 泊)		73.5× 116.0	昭	和	30年頃		
32	大		山 遠 望	80.0× 116.0					
33	山	の 風 景		73.5× 116.0	昭	和	31年頃		
34	け	し の 花		72.0× 92.0				鳥 取 県 立 博 物 館 鳥 取 県 立 博 物 館 鳥 取 県 立 博 物 館	
35	二	の 丸		64.5× 99.5	昭	和	31年		
36	山	王 の 森		97.0× 146.0	昭	和	33年頃		
37	城	原 海 岸		60.0× 90.0	昭	和	36年頃		
38	夏	泊 の 岩		72.7× 116.7	昭	和	36年		
39	青	い 岩		80.3× 116.7	昭	和	39年頃		
40	橋	津 の 海		53.0× 65.2	昭	和	34年		
(素描・水彩)									
41	休		息	46.0× 59.5	大	正	6 年		
42	窓 辺	(金 魚)		47.5× 37.5	大	正	～昭和初期		

No	作 品 名	大 き さ (cm)	制 作 年	所 蔵
43	花 (バ ラ と ユ リ)	41.0× 63.5	昭和初期	
44	蓮 根 の あ る 静 物	36.5× 63.0	昭和初期	
45	武 蔵 野	37.5× 64.0	昭和初期	
46	武 蔵 野	37.0× 64.0	昭和初期	
47	農 家	51.0× 67.0	昭和10年頃	
48	新 緑	43.0× 55.5	昭和10年頃	
49	梅 開 く	41.5× 55.0	昭和10年頃	
50	蕪 の あ る 静 物	37.0× 55.0	昭和10年代	
51	冬 枯 野	33.0× 50.0	昭和20年頃	
52	風 景 (岬)	27.5× 37.0	昭和初期	
53	海 (島)	23.5× 36.5	昭和初期	
54	早 春 (雪 山)	25.5× 34.5	昭和20年頃	
55	冬 の 農 家	26.5× 36.5	昭和20年頃	
56	素描・自画像など13点			
57	「松田晃八像」(石膏) 山本兼文作 35.0×21.0×20.0			



松田 晃八展

2 催物展

(1) 近世のやきものとぬりもの展

会 期 昭和60年 6 月18日(火)～ 6 月30日(日)

会 場 第1 展示室

やきものとぬりものは、日本古来の工芸品であるが、江戸時代めざましい進展をする。

町人階級の台頭は、生産技術の発達や需要の増加をうながし、その意匠も従来の武家好みから贅をつくした豪華なものなど多種多様な展開をする。

この企画は、伊万里、唐津などの皿、鉢、壺などと棚、化粧箱、香合などの調度品を展示し、近世の工芸美を紹介した。

展示資料

(やきもの) 伊万里、備前、九谷、織部、唐津焼などの大皿、皿、鉢、壺など35点

(ぬりもの) 蒔絵、螺鈿、推朱などの化粧箱、硯箱、織部棚、椀、盆、香合など59点

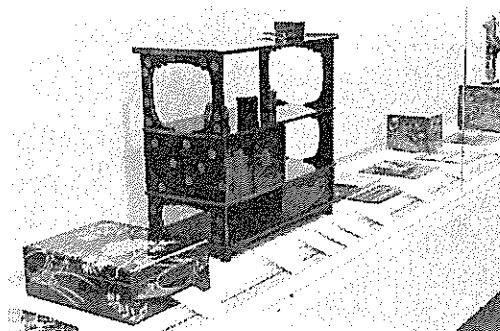
出品一覧表

やきもの

1 染付日本地図文皿(大皿)	伊万里	19 色絵松竹梅文皿	柿右衛門様式
2 色絵牡丹蝶文皿(大皿)	〃	20 染付辰砂鹿蝙蝠文水指	三浦竹泉
3 染付楼閣山水文四隅切皿(大皿)	〃	21 青磁鼓形水指	三田
4 色絵松竹梅文皿(大皿)	〃	22 青磁深鉢	〃
5 色絵花鳥文皿(大皿)	〃	23 染付鷹文皿	九谷
6 色絵四季草花文鉢	〃	24 色絵松竹梅丸文花生	〃
7 色絵菊牡丹文鉢	〃	25 色絵網干文角皿	〃
8 染付蛸唐草文徳利	〃	26 赤絵金彩山水唐人文鉢	湖東
9 染付龍鳳凰山水文深鉢	〃	27 染付松濤文水指	〃
10 染付竹梅樹文徳利	〃	28 色絵双鳳寿字文徳利	〃
11 染付山水文銚子	〃	29 割山椒向付	上野
12 染付唐草文徳利	〃	30 六角筒形水指	備前
13 染付花籠文皿	〃	31 馬上杯形鉢	唐津
14 染付辰砂牡丹文六角花生	鍋島	32 茶 椀	因久山
15 染付網干文鉢	伊万里	33 花 生	〃
16 染付草花文四隅切皿	〃	34 梅樹文水注	浜坂
17 染付花雲筏文皿	〃	35 青釉水注	布志名
18 色絵菊花文徳利	柿右衛門様式		

ぬりもの

1	葛女郎花蒔絵手付盆	初代勝軍木菴	31	松橋九曜車輪紋蒔絵鏡箱	
2	栗鶉蒔絵硯箱	池田家伝来	32	松椿蒔絵鏡台	
3	柳蒔絵輪花天目台	〃	33	雉蒔絵旅鏡台	
4	秋草九曜揚羽蝶沢瀉紋散香枕	〃	34	松竹梅蒔絵紙台	
5	松竹梅菊桐紋蒔絵角赤手箱	〃	35	桧垣秋草桔梗紋蒔絵茶箱	
6	鉄線九曜紋蒔絵紙台	〃	36	秋草桐紋蒔絵手燭	
7	菊水菱蒔絵花見弁当	〃	37	枝菊漆絵平椀	
8	富士山双鶴蒔絵見台	〃	38	朱漆湯桶	
9	梨地桐丸四目結紋太刀拵		39	鉄線唐草蒔絵盥	
10	四季草花蒔絵扇		40	牡丹唐草蒔絵手拭掛	
11	唐草葵紋蒔絵柄団扇		41	牡丹紅花緑葉香合	明
12	山水楼閣蒔絵印籠		42	牡丹蝶剔紅軸盆	〃
13	瓢箪雀蒔絵印籠		43	牡丹鎌倉彫筆	
14	蓬萊蒔絵印籠		44	松鎌倉彫筆	
15	拓榴蝶蒔絵印籠		45	菊孔雀存星平卓	明
16	菖蒲水文蒔絵煙管		46	龍仙人鬼箔絵筆	
17	菊蝶蒔絵煙草盆		47	花鳥彫紫檀筆	
18	秋草葛蒔絵脇息		48	堆朱筆	
19	京名所蒔絵鼓箱		49	楼閣人物螺鈿卓	琉球
20	梅鶯鶯蒔絵小鼓胴		50	舟遊螺鈿机	〃
21	四季草花蒔絵硯箱		51	竹林鶏螺鈿卓	〃
22	四季草花蒔絵料紙箱		52	雲風人物螺鈿八角食籠	〃
23	織部棚		53	葡萄栗鼠螺鈿箔絵箱	〃
24	松竹椿橘鶴亀蒔絵阿古陀香炉		54	唐草箔絵托子	〃
25	双龍蒔絵間香炉		55	牡丹梅密陀絵八角盆	〃
26	岩松橋沢瀉紋蒔絵重香合		56	双鶴桃枝螺鈿十二角草	李朝
27	龍田川蒔絵角赤小箱		57	龍螺鈿鮫皮貼衣裳箱	〃
28	龍田川蒔絵硯箱		58	花鳥獸螺鈿小箆筒	〃
29	古今集蒔絵冊子箱		59	キンマ椿円形鉢	タイ
30	松竹梅橘紋蒔絵カルタ箱				



近代のやきものとぬりもの展

(2) 中島菜刀展

会 期 昭和60年9月3日(火)～9月16日(月)

会 場 第1、第3展示室

中島菜刀(1902～1955)は八頭郡郡家町に生まれ、京都に上り山元春挙に日本画を学ぶ。1921年京都絵画専門学校に入学、卒業後は富田溪仙に師事し、院展に出品して活躍した。

戦後の一時期郷里へ帰り、県展、市展の審査員を努めるなど地方画壇の振興にも尽した。没後30年にあたるので郷土に残されている作品の一端を展示して彼の画業をふりかえてみた。

出 品 目 録

		(制 作 年)			(制 作 年)
つ	く	し	鶏	の	図
白		椿	瀑	布	図
西	瓜	と	竜	門	の
風	俗	図	飛	魚	
ふ	き	の	はりまぜ・短冊団扇		
		麦	大	山	樹
え		び	柏	と	楓
嫁	が	君	銀	杏	図
松	葉	蟹	流	し	び
田	植	の		桜	
荀	の	図	藪	柑	子
都	府	楼	高	尾	晩
宮	崎	八	田	家	の
仏	手	柑	菊	の	図
あ	じ	さ	あ	じ	さ
果	物	の	椿	の	図
仏	手	柑	蓬	来	図
田	園	風	黒	部	峡
		柿	鳥	取	城
三	徳	山	伯	耆	大
枇	杷	の	芦	津	の
洛	北	芭	謫	居	の
鶏	牡	丹	詩	仙	堂
三	徳	山	洛	北	新
雲	雀	の	鐘	馱	図
群	鶏	図	農	婦	休
法	隆	寺	果	物	図
麒	麟	獅	樹	下	青
栗	の	図	え	び	和
比	叡	山	如	意	観
ざ	く	ろ	朝		陽

			(制 作 年)
観	音	像	1935 (昭和10) 年
吉	野	の	1950 (昭和25) 年
朝	日	洞	1951 (昭和26) 年
初		雪	1953 (昭和28) 年
果	物	図	1949 (昭和24) 年
田	園	風	
晚	秋	絢	1951 (昭和26) 年

		(制 作 年)
画 帳	洛北八瀬路	
	園 林 帳	
	画 信	
	独座幽篁	1955 (昭和30) 年
手 紙		
短冊	かけひの水 他	13点
色紙	青手蟹 他	6点



麒麟獅子 (部分)